

富秋中学校区にお住まいの皆様へ

富秋中学校区の学校のこれから…

# 検討状況 **報** **告** **資** **料**

富秋  
中学校池上 幸  
小学校 小学校

～施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の検討～

現在、幸小学校、池上小学校、富秋中学校の3校をひとつの学び舎とする「施設一体型義務教育学校（小中一貫校）」について議論しています。



幸小学校



富秋中学校



池上小学校

## 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）とは？

一つの敷地（建物）の中に小学校と中学校を設置し、小学生と中学生が9年間の系統的な教育課程のもとで、共に学校生活を送ります。

和泉市では、平成29年4月に「南松尾はつが野学園」が施設一体型義務教育学校（小中一貫校）として開校しています。



## 和泉市・和泉市教育委員会

問合せ先 和泉市政策企画室資産マネジメント担当（担当：中埜・山本）  
TEL：0725-99-8208/メール：chiikimachizukuri@city.osaka-izumi.lg.jp

# 富秋中学校区の学校教育環境の現状

## ○児童生徒数の比較（S60-H30）

### S60 年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
幸小	34	20	52	44	38	57	245
池上小	78	80	94	76	100	104	532
計	112	100	146	120	138	161	777

富秋中	213	184	182	-	-	-	579
-----	-----	-----	-----	---	---	---	-----

### H30 年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
幸小	18	16	11	27	14	19	105
池上小	40	32	30	38	36	26	202
計	58	48	41	65	50	45	307

富秋中	70	58	71	-	-	-	199
-----	----	----	----	---	---	---	-----

## ○学級数の比較（S60-H30）

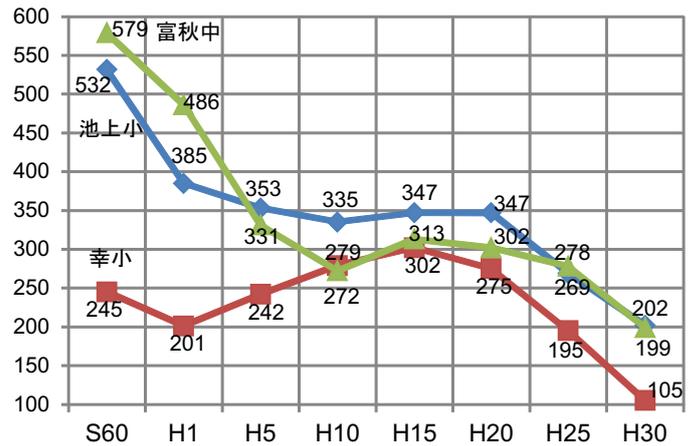
	幸小	池上小	富秋中
S60	10	15	18
H30	6	7	6

※昭和 60 年度に比べ**児童生徒数は、半分もしくは 1/3 程度に減少**

※昭和 60 年度頃、小学校では、ほぼ複数学級が確保されていたが現在ではほぼ単学級

※将来的な増加の見込みは、現時点ではない

※中学校においても、将来的に単学級になる可能性



富秋中学校区児童生徒数推移

## ○市内各校の学級数の状況

	19学級以上	12~18学級	9~11学級	8学級	7学級	6学級以下
小学校	8校	7校	鶴山台南小	—	横山小・池上小	南横山小・幸小
中学校	4校	3校	—	—	—	榎尾中・富秋中

# 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）について

## ○施設一体型義務教育学校（小中一貫校）とは

小学校と中学校を、同敷地内の1つの施設内に設置

施設一体型

施設分離型



**小中一貫教育**

⇒施設一体型とすることで、より一貫教育の効果が期待される。

## ○地域への波及効果

### 1.PTA 活動の活性化

現在は個々の校区でのPTA活動…

ひとつのPTAとなり参加者の負担軽減、交流増による一体感が生まれる！

### 2.町会等の支援

現在は校区毎の支援…

中学校区全体で支援ができる！

### 3.人口の流入増・流出減

- ・小・中教員による育み
- ・多様な異学年交流
- ・小学生の部活動への参加
- ・校区全体での子ども見守り育成 等



こどもが生まれたので、地域に帰ろう！

このまちで子育てがしたい！

## 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）とすることで期待されること

### 盛んな異学年交流

小学生と中学生の交流が盛んとなり、上級生の優しさ、下級生が抱く上級生へのあこがれや感謝の心が醸成されます。

### 9年間を見通した教育の実践

小中の教員が9年間を通して見守り、子ども達は、安心感をもって学校生活を過ごします。

### 一部教科担任制

小学生における英語、算数、体育などの授業について中学校教員による専科指導が可能となります。

### 5・6年生の部活動参加

小学生5年生からの部活動が可能となり、小学生の興味関心、中学生のリーダーシップを高めます。

### 保護者負担の軽減、地域一体の地域活動

小・中学校の参観を同じ日にするなど負担が軽減され、PTA活動もひとつとなり、地域活動が行いやすくなります。

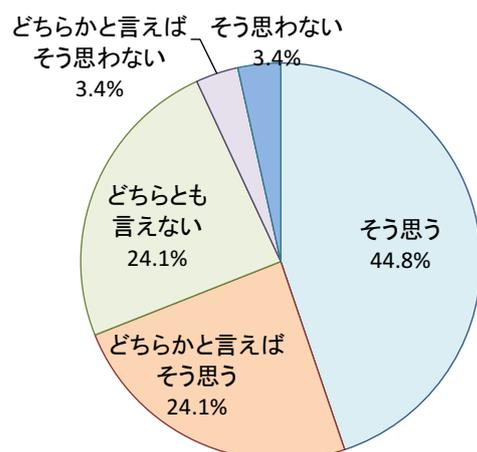
### まちの魅力向上、若者世代流入の期待

よりよい教育が展開されている地域のシンボルとなり、まちの活性化に寄与することも期待されます。

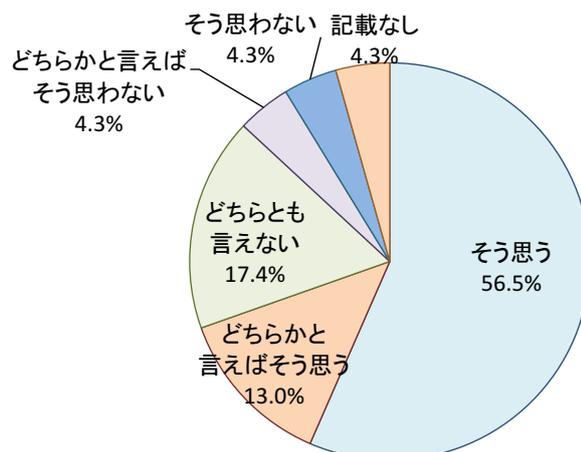
## 子ども園での説明会、地域での検討状況報告会（10～11月）

- ・ 10～11月にかけて富秋中学校区内の3か所のこども園（さいわいこども園、池上わかばこども園、和泉チャイルド幼稚園）で保護者向け説明会を開催
- ・ 11月18日には、地域の皆さまに広く「施設一体型義務教育学校（小中一貫校）」に関する情報提供や検討状況の報告を行うため「検討状況報告会」を開催
- ・ 「施設一体型義務教育学校（小中一貫校）を検討すること」については、約7割の方が“検討に必要性を感じる”という回答結果

### ○アンケート結果：施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の「検討は必要と感じるか」



子ども園(3園)での説明会



11/18 検討状況報告会

## 地域での取組み状況

今後の富秋中学校区等のまちづくりの検討を行うため、平成30年2月に「富秋中学校区等まちづくり検討会議」が発足。

5月から「子育て・教育部会」を月1回のペースで開催し、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の設置等について議論しています。



⇒ 取組みの様子や部会の開催予定等の情報を市のHPや「富秋中学校区等まちづくり検討会議」ニュースレターで発信しています。検索サイトで **富秋中学校区等まちづくり検討会議** と検索してください。

## 今後の部会での取組み予定

2月以降、部会にて「施設一体型義務教育学校（小中一貫校）」とするかの方向性を検討するにあたり、**教育内容などについて議論**を深めていき、5月頃に部会の意見を取りまとめます。その意見を検討会議において整理し、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の検討についての方向性等を7月頃とりまとめる予定です。

**※なお、現時点において方向性等、一切決定事項はありません。**

## 子育て・教育部会にご参加ください！

第9回子育て・教育部会を開催します。

【日時・場所】 2月19日（火） 19時～ ※申込不要  
池上小学校 ランチルーム（1階）  
（和泉市池上町3丁目14-45）

※第10回以降も、開催予定が決定次第、HPに掲載していきます。

※お車でお越しの場合、できるだけお乗り合わせしてお越しください。

## 会議に参加できない方にも、説明にお伺いします！

学校・地域等での集まりの場にお呼びいただければ、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）に関する検討状況の情報提供・意見交換の場を設けます。ご希望の場合は問い合わせ先までご連絡ください。

## アンケートにご協力ください！

地域の皆様が富秋中学校区等におけるまちづくりの取組についてどれくらいの方が知っていたか等を調査するため、QRコードを読み込んでいただき、**アンケートにご協力をお願いします**。回答をいただいた方には**検討状況等の情報を送付させていただきます**。



※QRコードを使用しない場合、検索サイトで **富秋中学校区等まちづくり検討会議** と検索し、リンク先の市HPへ移動し、⇒「富秋中学校区等まちづくり検討会議」⇒「**富秋中学校区等まちづくりに関するアンケート**」をクリックし、富秋まちづくりアンケートフォームからアンケートへお進みください。

## 富秋中学校区において、子ども達を安心して育てる環境づくりについて

1)学校における子ども・家庭支援の取組み

2)学校と地域が連携した取組み

3)学校における生徒指導に関する取組み

4)富秋中学校区における特色ある教育内容の実践状況

5)その他、地域・行政における子ども・家庭支援の取組み

## 富秋中学校区における学校教育の取組

### 【中学校区でめざす子ども像】

「自分のおもいを自分のことばで話せ、人のおもいを聞き取り、受け止めることができる子」

### 1. 学校における子ども支援・家庭支援の取組み

□「校内家庭支援会議」（幸小）、「SK（支援教育）会議」（幸小）、「TS（特別支援）会議」（池上小）、など

- ・定期的に会議を開き情報共有や支援に向けた検討を実施
- ・職員全体で子どもの状況を深く理解

□登校支援

- ・担任以外の教員全員が朝の健康観察時に各教室を回り、遅刻・欠席の状況を確認
- ・登校支援を必要とする子ども、家庭への対応

□関係機関、各専門員との連携

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市や各学校関係機関と連携した教育相談や子ども・家庭支援等の組織的な対応
- ・特に配慮、支援の必要な事案については専門家等も交えたケース会議を実施

□いじめ防止

- ・いじめ防止やいじめ対策に向けた委員会を設置し、組織的ないじめの起きにくい学校づくり

□たてわり活動

- ・学年関係なくみんなが仲良くなれるように「ザ・幸っ子アドベンチャー」や「さいわい祭り」など楽しいたてわり行事を企画（幸小）
- ・たてわりクリーン作戦、わんさか遊ぼう（たてわり遊び）、キッズフェスティバル（池上小）



□小中一貫教育推進会議

- ・3校合同研修の実施
- ・年6回の授業づくり研修、学識による講演会、生徒指導研修、人権教育研修など



### 2. 学校と地域が連携した取組み

□富秋すこやかネット

保育園、幼稚園、学校、家庭、地域が一緒に子どもの発達や教育について考え、具体的に活動できるように、3つの委員会を設置しての取組み

→ 家庭支援委員会、子育て交流委員会、読書委員会

□ITS咲かせ隊

- ・情報交換や地域の巡回（ゴミ拾い）、花いっぱいプロジェクト等を実施



□青少年センター（どろんこ子ども会）職員との連携（幸小）

□土曜日教室（池上小）

- ・ P T A や地域の方、教職員などが講師となり、スポーツや工作等を実施



□若つど

- ・ 「障害」をもつ仲間とともに歩む和泉若者のつどい
- ・ 2 小学校の児童会と生徒会が合同で模擬店を出店

□いずみブックフェスティバル

- ・ すこやかネットの読書委員会が事務局となって開催
- ・ 中学生が小学生、幼稚園、保育園の子どもたちに、絵本の読み聞かせ



### 3. 学校における生徒指導に関する取組み

□朝のあいさつ運動

- ・ こころのキャッチボールを促しながら、遅刻や服装、交通安全なども指導
- ・ P T A や自治会などの協力も得ながら、地域全体の見守り活動として



□授業間の見守り

- ・ 各授業間に授業のない教職員が校内を回り、授業になじめない子どもへ働きかけ
- ・ 授業にも入り寄り添った支援



□教育相談

- ・ 担任とのつながりを深め、いろいろなことを相談できるように学期ごとに教育相談週間を実施（富秋中）

□子ども支援コーディネーターによる取組み（富秋中）

- ・ 特に支援の必要な子ども、家庭に対し、関係機関と連携した一人ひとりに応じたきめ細やかな支援の推進、調整
- ・ 進路指導主事と連携したキャリア教育
- ・ 生徒指導主事と生徒会活動の連携を図り、「集団づくり」を基盤とした生徒指導を推進
- ・ 各種アンケートを実施し、生徒の生活面や意識の実態を把握
- ・ 家庭支援の必要な家庭に対し、関係機関やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家との調整を行い、ケース会議を企画、調整

□児童生徒支援加配教員による取組み

- ・いじめ、不登校等の未然防止、課題対応
- ・個々の生徒の情報共有や必要な研修を推進
- ・不登校生に向け、生徒指導主事や子ども支援コーディネーターと連携した登校できる環境づくり（富秋中）
- ・教室で不適応な行動を起こす生徒に対して、落ち着ける環境と適応力を養うための居場所を提供し、自身の行動の振り返りと自尊感情の向上を図る。

□生徒指導主事による取組み（富秋中）

- ・関係機関（子ども家庭センター、家庭裁判所、警察など）と連携した生徒指導の調整
- ・生徒の規範意識の向上に向け、校内外の巡視活動や生徒指導集会、喫煙防止教室などの企画・調整
- ・全職員で不登校や問題行動、支援の必要な生徒にあたるための職員の資質向上に向けた研修を企画
- ・地域の教育力向上に向けた、ITS 咲かせ隊やPTA 生徒指導委員会などの運営に参画

□少年健全サポートチーム（富秋中）

- ・教育委員会や管内の警察官、協働員など、関係諸機関や地域の人々の協力のもと、授業時間中の校内見守りや放課後の巡回を実施

## 4. 富秋中学校区における特色ある教育内容の実践状況

### 《人権教育の充実》

□平和学習 平和登校

- ・事前学習や修学旅行（広島、沖縄）での学びを発表、報告

□障がい者理解学習

□部落・同和問題学習

- ・地域や青少年センター職員との連携

□在日外国人理解学習 国際理解学習

□起業家教育（幸小）

- ・地域産業を活かしたキャリア教育

□人権授業週間（人権教育、道徳の公開授業）

□集団、仲間づくり

□人権学習、キャリア教育

- ・職業講話、職場体験、保育実習（富秋中）
- ・多様な人との出会い、豊かな体験活動を取り入れた学習活動
- ・各学年の発達段階に応じて、人権課題についての学習、その課題に向けて積極的に働きかける生徒の育成
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校、児童養護施設、支援学校との連携・交流



## 《学力保障・向上に向けた取組み》

### □学力保障・学力向上の取組みの実施

- ・授業研修の実施（富秋中）  
→「分かる授業」「楽しい授業」にむけて年間3回の研究授業と全員1回以上の公開授業の実施
- ・月一研修（幸小）  
→日々の授業に役立つように教員のニーズに合った研修を実施
- ・グループ活動を活用した授業展開（富秋中）  
→グループによる課題解決の時間を設定し、「主体的、対話的で深い学び」ができる授業の在り方を全員で研究
- ・おはよう計算（池上小）  
→つまづきにに応じた課題プリントを作って実施
- ・みんな宿題（富秋中）  
→既習内容の定着を図るための基礎的・基本的な学習内容を全員が、宿題として、家庭で実施する学習のための教材。各教科担当が作成する。
- ・終わりの10分間学習（富秋中）  
→テスト前の帰りのホームルームの時間に、テスト範囲での振り返り学習を実施。
- ・放課後学習会（富秋中）  
→テスト一週間前に、放課後、テスト前学習会を各教科、各クラスで実施し、テスト前学習の支援を行っている。

### □読書教育の推進

- ・朝読書や暗唱の実施
- ・地域教育協議会主催の「ブックフェスティバル」の実施
- ・校区全体で「読書にふれる」機会を持ち、地域全体での読書推進を図る。
- ・保護者ボランティアによる読み聞かせ（幸小）
- ・家族10分読書（幸小）



### □自学自習力・家庭学習習慣の育成

- ・家庭学習「ハッピーチェック」（幸小）
- ・少人数通信（幸小）、授業改善（JK）通信の発行（池上小）
- ・学年の課題に応じたプリント作成

### □個に応じた指導

- ・入り込み、少人数指導形式の授業
- ・学力向上サポーターや学生ボランティアの活用  
→授業でのサポートや放課後を活用した学習会、補習  
テスト前勉強会、など
- ・夏休み補習（夏休み宿題教室）（幸小、池上小）



## 5. その他、地域・行政における子ども・家庭支援の取組み

### □いずみ希望塾

- ・学ぶ意欲があり、学習塾に通っていない小学5年生～  
中学3年生を対象に実施（青少年センター他）



### □地域教育協議会への補助、運営支援

### □スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置

### □奨学基金制度運用

### □子育てサポート事業（青少年センター）

- ・どろんこ子ども会
- ・各種のイベント・講座等の開催



### □読書活動（にじのとしょかん）

- ・ボランティアによる絵本などの読み聞かせ

### □学習支援・子ども食堂（てらこやハッピー実行委員会）

- ・西教寺が門徒会館と本堂を使って、近隣の小中学生を対象とした子ども食堂  
「てらこやハッピー」を開催



### □地域子育て支援センター（さいわいこども園）

- ・在宅児を対象に親子教室や子育て相談等を実施

### □家庭支援の保育士を配置（さいわいこども園・くすのき保育園）

- ・家庭支援の保育士を配置し、育児教室、家庭訪問等により相談支援を実施

### □いずみファミリーサポートセンター

- ・育児の援助をしたい人、育児の援助を受けたい人からなる相互援助活動

### □留守家庭児童会、放課後子ども教室の開設

### □くらしサポートセンターの設置や離職者の就労活動支援を目的とした住居確保のための給付金制度など生活困窮者への自立支援事業

### □無料職業紹介センターの開設

### □暮らしの悩みや困りごとなどの総合相談窓口「いきいきネット相談支援センター」を開設（富秋中学校担当：和泉市社会福祉協議会）

### □青少年センター、人権文化センターにおける相談事業

# 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）に期待する内容

富秋中学校区等まちづくり検討会議  
第10回 子育て・教育部会

富秋  
中学校  
池上 幸  
小学校 小学校



幸小学校



富秋中学校



池上小学校

## 想定される教育内容等のイメージ

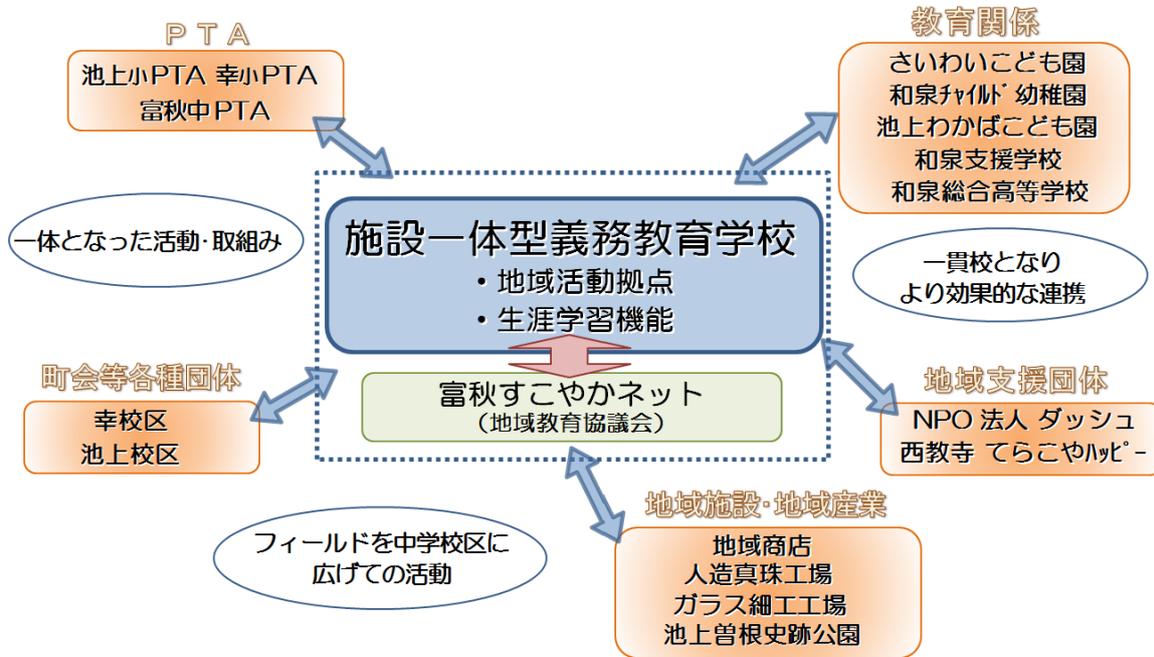
- 1) 施設一体型の特色 を活かした取り組みを展開  
→ 1つの学び舎の良さを活かした教育の充実
- 2) 富秋中学校区各校の 教育内容の更なる充実 を展開  
→ 地域資源、地域の特色を活かした教育の充実
- 3) 子どもたちを 地域で育てる教育環境づくり を展開  
→ 「地域とともにある学校」を念頭に、地域全体で学校、子ども達を支える体制を構築し、学校に地域が集い、活動が可能となる環境を  
→ 児童生徒だけでなく地域住民が互いを支えあう環境の展開へ
- 4) 学校施設機能を活用した 多用途活用 を展開  
→ 施設を開放し、生涯学習の場や地域活動・交流の拠点としても活用  
→ 民間活力の導入も検討し、児童生徒の放課後活動を充実

上記1～4の取組みを推進することにより、  
教育環境の充実を図り、地域の魅力の高まりも期待しています。  
また、波及効果として「地域に住みたい」、「地域に戻って子育てをしたい」  
という機運を高め、若者世代の流入も見込んでいます。

# 基本方針

「自分のおもいを自分のことばで話せ、人のおもいを聞き取り、受けとめることができる子」の育成をめざして  
 ～ 学校・家庭・地域による子どもの育成 ～

- ・人権教育を柱として自分自身と他者を同じように大切にすることを育みます。
- ・地域の教育資源を活かしたキャリア教育を通して、自己有用感を持ち、自らの生き方についての夢や希望を育むことができる取組みを充実させます。



地域とともにある学校として

# 施設一体型を活かした教育

## ・小中教員による9年間の育み

- 系統的な学習指導
- 小中教員によるきめ細やかな生活・生徒指導
- 各家庭とのつながりの深まり

## ・中学校教員による小学校段階からの一部教科担任制

- 中学校への円滑な接続

## ・小学校段階からの部活動参加

- 運動・文化にふれる機会や学校生活の充実
- 上級生の自己有用感の育成

## ・異学年交流の充実

- 図書館での上級生による読み聞かせや合同での給食や掃除など
- 多様な関わりの中で社会性や協調性を育成

## ・児童・生徒による主体的な学校風土の醸成

- 下級生への見本となる上級生としての意識
- 児童・生徒自身による課題解決
- 児童会・生徒会の一体化による縦割り行事や委員会活動の充実



中学校音楽専科による授業



中学生との清掃活動

## 富秋中学校区各校の教育内容の更なる充実

### ・人権学習や平和学習の充実

- 多様な考え方にふれる
- 仲間づくりの充実

### ・9年間の系統性を活かしたキャリア教育

- 幸小での起業家教育などから発展させ、富秋中学校の保育実習や職業体験など、キャリア教育を推進させる。

### ・地域人材や産業等を活用した学習

- 教育エリアの広がりを活かし、人造真珠やガラス細工の工場、地域の商店、NPO 団体、にじの図書館、池上曽根史跡公園等を活用・連携したキャリア教育や地域学習等の充実・発展



保育実習



人造真珠工場見学

## 子どもたちを地域と育てる教育環境

### ・地域教育協議会(富秋すこやかネット)を軸とした地域と学校の協働による、子どもの育成の充実

### ・子育てサポート事業によるイベントや出前講座

### ・地域ボランティア等による読み聞かせ活動や学校図書館の地域への開放

### ・地域活動室を設置し、地域人材を活かした学習支援活動や通学の見守り、放課後活動や部活動のサポートなどの充実・発展

### ・幸校区、池上校区が1つのフィールドとなった学習環境の広がり



保護者や地域人材による読み聞かせ



池上小土曜日教室

## 学校施設機能を活用した多用途活用

### ・グラウンドや体育館、一部教室を生涯学習の場として活用

### ・留守家庭児童会、放課後子ども教室の開設

### ・地域による子ども支援の取り組みや活動に家庭科室やランチルーム等を提供

### ・放課後学習、教育活動の充実

- 一部教室を活用し、民間の塾などの設置開催



南松尾はつが野学園ランチルーム



いずみ希望塾

## その他

### ・児童数増による複数学級の確保

- 多様な考えにふれる学習機会の充実
- 遠足や社会見学等の校外学習の充実

### ・PTA活動の活性化

- ひとつのPTAとして効率化、負担軽減が図れる

### ・地域がより深く関わり学校運営を進めるコミュニティスクールの推進モデルとして

## 【参考】

### ○ 槇尾中学校区での取組み状況

市議会議員、学識経験者、PTA、地域関係者が参画する「和泉市適正就学対策審議会」

にて、前述のような大きなコンセプトのもとに、現槇尾中学校に施設一体型義務教育学校（小中一貫校）とすることについて、答申がなされました。

当該答申を受け、4月以降に（仮称）学校開校準備委員会を組織し、学校名をはじめ、より具体的に教育内容、校舎、通学、制服、新たなPTA組織等を整理していく予定です。

### ○ 富秋中学校区における今後考えられるイメージ

① まずは、この専門部会での意向集約

② その後、他の部会の方針と併せて、検討会議での意向集約

③ 説明会、アンケート調査を経て、まちづくり構想素案として、市へ提出

④ 市にて、まちづくり構想の確定

⑤ これらの方向を受け、教育委員会において、より具体の地域調整

⑥ 地域での合意形成、盛り上がりが確認されれば、適正就学対策審議会へ諮問し、答申が得られれば、具体の手続きに進む

※その後については、開校までの期間に、より具体的な教育内容の調整や通学対策、制服等の調整を行うこととなります。また、小学生と中学生が一緒にいることへの不安解消対策の推進などに取り組むことが考えられるところです。

## 留守家庭児童会（仲よしクラブ）について

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊び場および生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として、留守家庭児童会（仲よしクラブ）を開設しています。

対象児童	小学校 1 年生～ 6 年生
入会要件	保護者全員が週 3 日以上労働等で昼間家庭に不在の児童
入会単位	1 月単位
開設時間	・ 平日 放課後～ 19 時 ・ 土曜・三季休 8 時～ 19 時
休会日	日曜日、祝日、学校休校日、 12 月 29 日～ 1 月 3 日
負担金等	・ 負担金 5,500 円／月 （ 2 人目以降は半額） ・ 延長負担金 1,500 円／月 （ 18 時以降利用の場合） ・ 諸費 1,500 円／月 （おやつ・教材費） ・ 保険代 800 円／年
減免制度	生活保護、市府民税非課税世帯 ・ 負担金 全額減免 ・ 延長負担金 500 円減免
学校外活動	なし
その他活動	お楽しみ会、お誕生日会などをクラブの判断で実施
備考	土曜、三季休の昼食は持参のみ

## 第9回子育て・教育部会 主な意見

### 《授業参観日での説明報告について》

- ・配布しているニュース等について、見たことある程度という人、小中一貫校となることが「決まったこと」と誤解している人、自分には関係ないという人が多かった

### 《第1回居場所づくりイベント結果報告について》

- ・アンケート回答では、今後の部会等への参加にもつながりそうな結果
- ・事前に集まってボランティアの方にイベント趣旨を理解してもらおう機会がなく反省
- ・みんなで力を合わせたイベント、子ども達が地域で育っていく姿が見られるイベントだった

### (まとめ)

- ・年3回程度の頻度で実施できれば。次回は夏ごろに夕涼み会等を企画予定
- ・今後に向けて、池上校区での実施や資金の集め方・広報の仕方等を要検討

### 《施設一体型義務教育学校（小中一貫校）について》

施設一体型義務教育学校（小中一貫校）となった場合に、「中学生と小学生が一緒になることについて不安」との声を受け、次のことを議論しました。

#### ●富秋中学校での取組みについて

- ・生活面で問題を抱える生徒に対して、加配教員制度等を活用し、個別にフォローアップ。学力面についても、生徒のやる気を出すために授業改善に取り組んでいる。

#### ●地域の子育て環境に対する不安について

- ・公園で小学生と中学生がトラブルになり小学生の遊ぶ場がなくなる。そういった問題があるまま小中一貫校にしていくことについては反対。幸小学校と池上小学校が統合することは良いと思う
- ・青少年健全サポートチームや青少年指導員などの取組みで、公園で子ども達がたむろしている情報を聞いて現場に行っていたこともあるが、最近はそのようなことはなくなったと思っていた。改めて地元の人にも聞いてみようと思う
- ・小中学校の連携はできてきたが、地域ぐるみで子どもを育てていく力については不安が残る。イベント等を、地域で子どもを育てる力をつくるきっかけにできれば

#### ●地域の子どもが減少している問題について

- ・仮に統合しても1クラスのままだとなぜ小中一貫校にするのかが分からなくなる
- ・生徒の数が減少し、クラブ活動の運営がままならないことで、子どもの選択肢が減り、活動に参加しなくなることで放課後時間をもてあますことが問題につながるのではない
- ・校区編成の問題を含め生徒を増やすような取組を考えてほしい

#### ●保護者への情報提供の仕方について

- ・行政の資料を見ると、今の学校の問題点が見えない。保護者へ危機感が伝わっていない

●富秋中学校、校区全体のイメージ改善に向けて

- 富中は生徒と教員の距離が近く親身で保護者とも連携が取れるので自分の子どもは通わせたい
- 問題は中学校だけでない。小・中それぞれの問題をどのようにクリアするかまず整理すべき
- 富中のオープンスクールの取組みについて、未就学児の保護者等まで伝わっていない
- 今出ている問題は校区全体が関係していて、学校だけでは解決できない
- 子ども達に居場所（学校や施設や公園など）の選択肢をつくってあげることが重要

(まとめ)

- 小中一貫校の検討と並行して、今ある地域の問題をどのように解決すべきか考えることが大事
- 小中一貫校になっただけで地域の問題が解決するわけではないが、小中一貫校を議論するこの部会のような場があるから、富秋中学校区全体で問題解決に向けた議論が出来る。幸校区・池上校区がまとまって議論していく土俵として、「小中一貫校」を利用することは良いと思う。
- 「ひとにやさしく」という富秋中学校で培ってきた伝統など、地域の雰囲気をもどのようにつくっていくか、小中一貫校の議論だけでなく、地域の問題解決の場としても議論していきたい
- 保護者等への伝え方を工夫するなど、今後も議論の場へ参加を促進していくことが重要

## プロジェクト立上げの主なねらい

- ① 参加者の声を聞いて、このまちに合った活動をつくっていく
- ② 取組みの中で、本当に必要な場所・機能を考えていく
- ③ 子育て世帯の仲間・ネットワークづくり
- ④ 周辺地域からも「信太山近辺いいね!」と思ってもらえるように

## 第1弾企画（イベント）の概要

### コンセプト

- ① 「誰でも」来られる場づくり（子どもだけでも、大人だけでも、親子でも）
- ② 「子育て、子育ち」を支援
- ③ 顔の見える関係の「きっかけ」づくり

### 実施概要

日時：2019年1月27日（日） 10～13時（プレーパークは17時まで）

場所：青少年センター

主催：富秋中学校校区等まちづくり検討会議

内容：

#### ① プレーパーク&棒パンづくり&鬼ごっこ

火・木・土などの自然の素材を使って自由遊び。手づくり滑り台や滑車ロープ、巨大ハンモックも用意。途中には鬼ごっこイベント（延べ3回）。たき火使って棒パンづくり

#### ② 読み聞かせ会&読み聞かせ講座(大人向け)

子ども向けには、地域の保護者による読み聞かせ会（延べ2回）

大人向けには、にじのとしょかん・佐藤氏による読み聞かせ講座（延べ2回）

#### ③ 節分仮装づくり&記念撮影(写真プレゼント)

節分にちなんだ仮装づくりで鬼に変身。

富秋中生徒（美術部）が用意してくれた背景で記念撮影。写真はプレゼント。

#### ④ 無料カフェスペース(セルフ)

飲み物・お菓子を用意し親も子どももほっと一息ついたり話をする場を用意。

まちづくり検討会議や小中一貫校の資料などの情報も用意。

### その他

- ・車での来場者向けに旭温泉跡を駐車場として利用。
- ・ケガや食中毒など万一に備えてレクリエーション補償保険に加入。
- ・モノ・人の準備・協力について、部会や検討会議ニュースで呼びかけ。

みなさまご協力ありがとうございました！

# 前日準備

日 時：2019年1月26日（土） 14～17時

準備参加者：19名



準備内容の確認



受付準備



プレーパークをつくる高校生



カフェスペース



富秋中生徒（美術部）作の撮影用背景



開催経緯を紹介するコーナー

# 当日

参加者：参加者 101 名（大人 53/子ども 48） + スタッフ約 40 名  
⇒延べ約 140 名！



受付の様子



仮装工作の様子



読み聞かせ講座（親向け）



読み聞かせ会（子ども向け）



プレパークの巨大ハンモック



小学生をおんぶする高校生



フリースペースの様子



フリースペースで折り紙



プレーパークでの棒パンづくり



鬼登場イベント



鬼登場後はみんなで記念撮影！

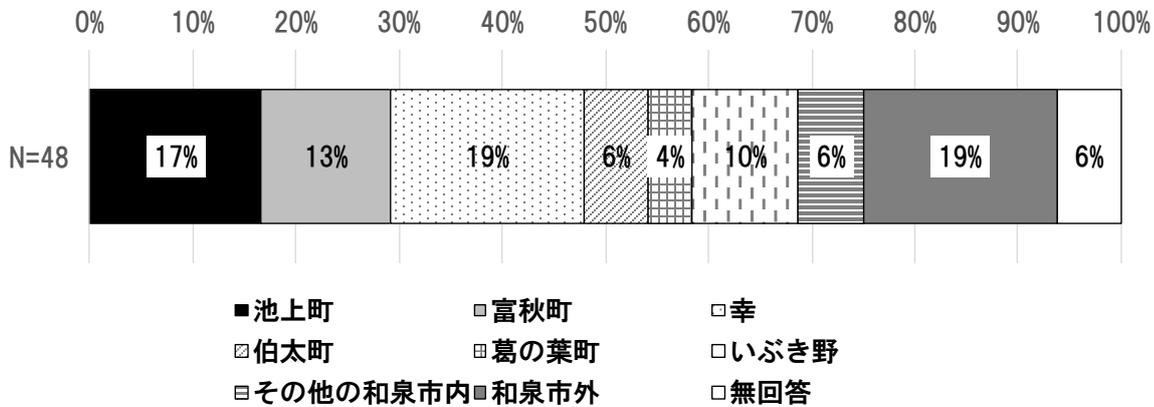


写真はみんなにプレゼント

# 参加者詳細

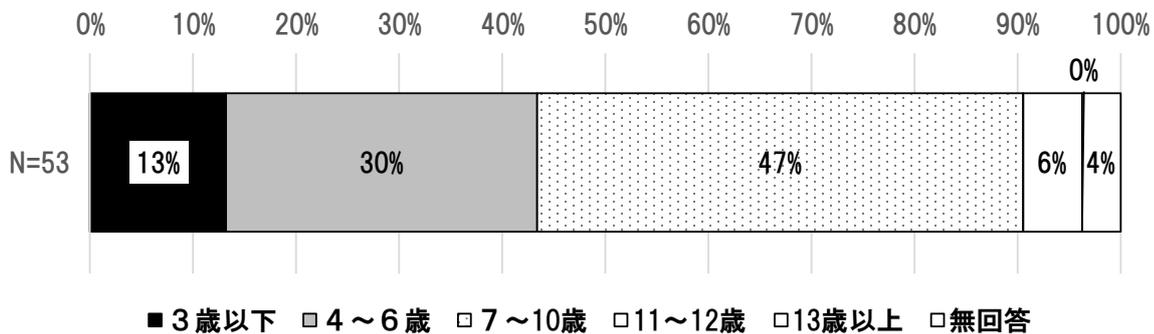
## ① 大人

### ■参加者のお住まいの地域

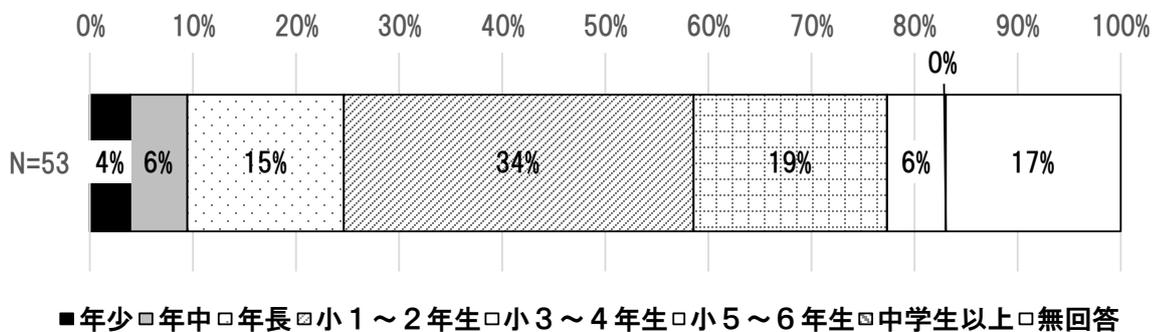


## ② 子ども

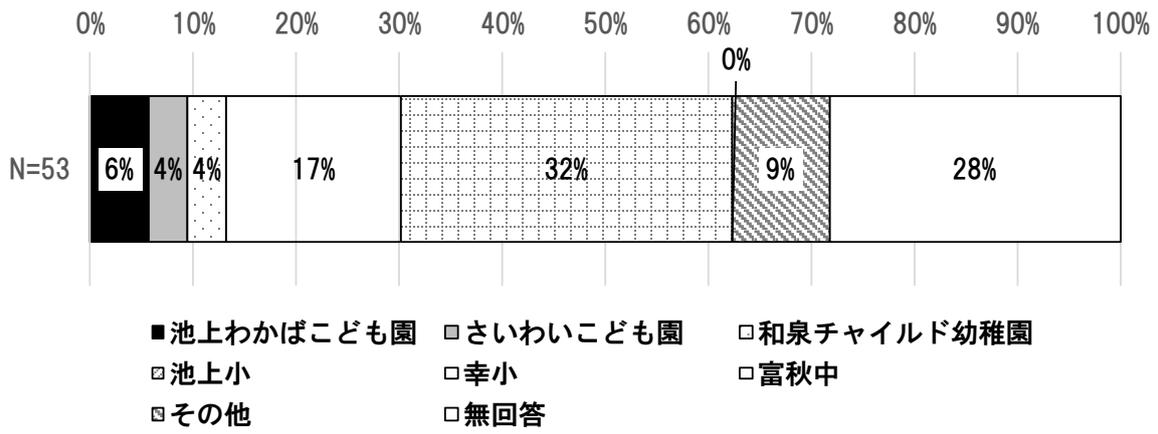
### ■年齢



### 参考：学年

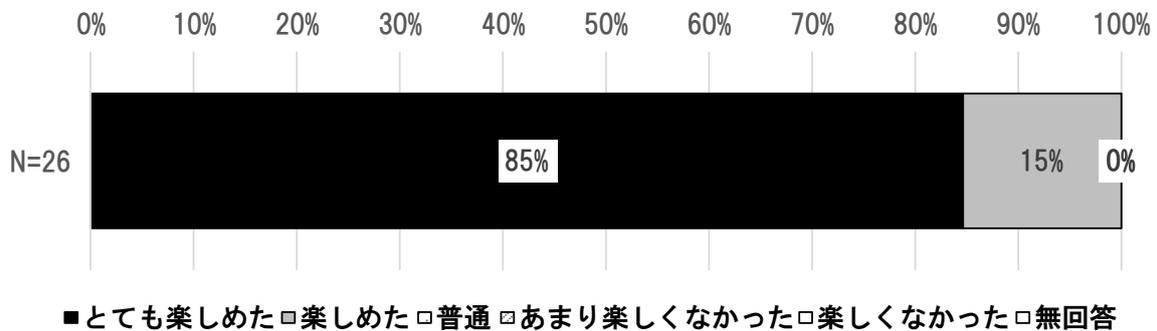


## 参考：こども園・学校

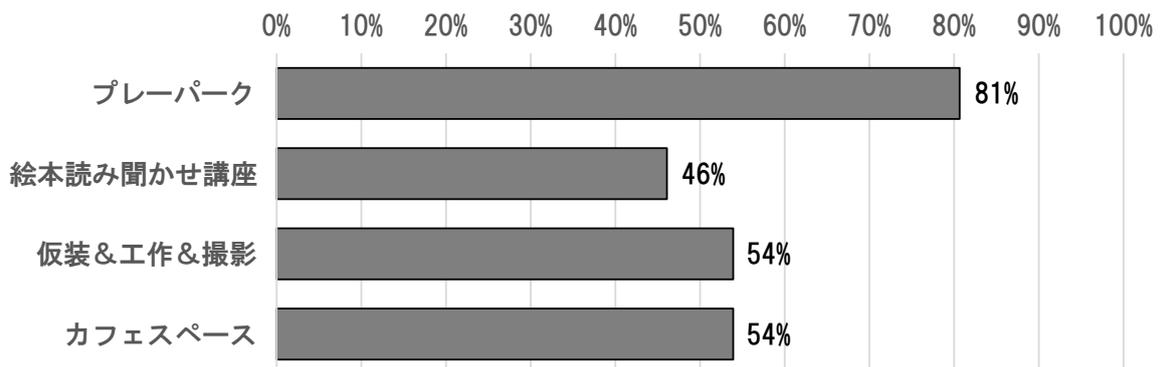


# アンケート結果

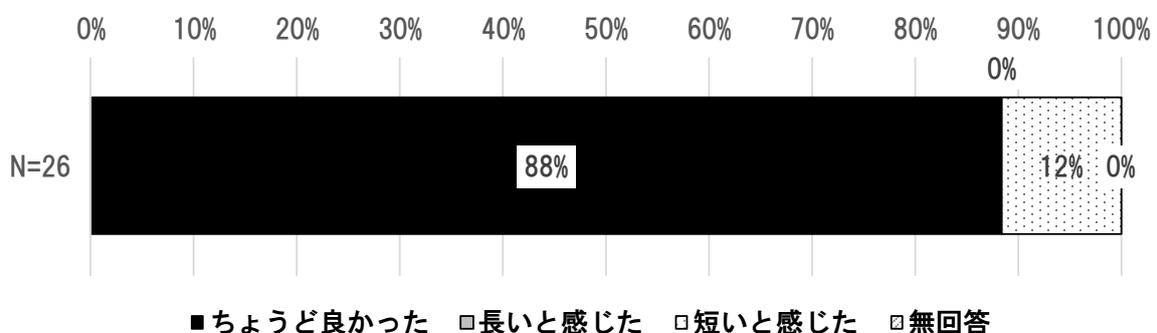
## ① 今回のイベントは楽しめましたか？



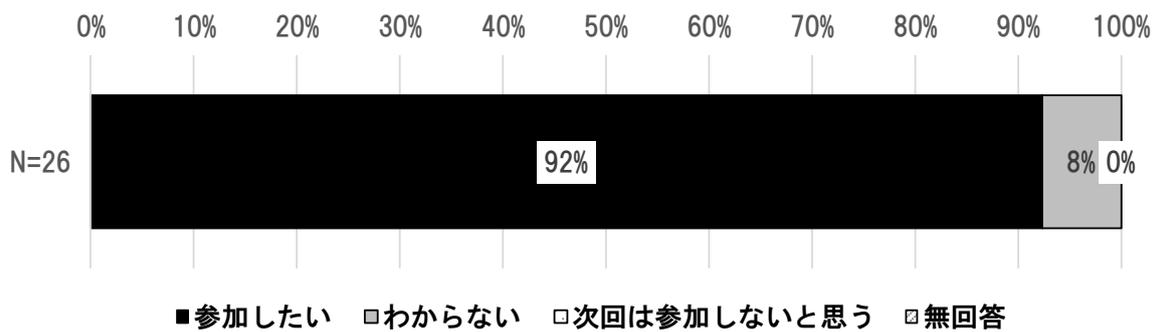
## ② 良かった、楽しかったのはどの内容でしたか？（複数回答可）



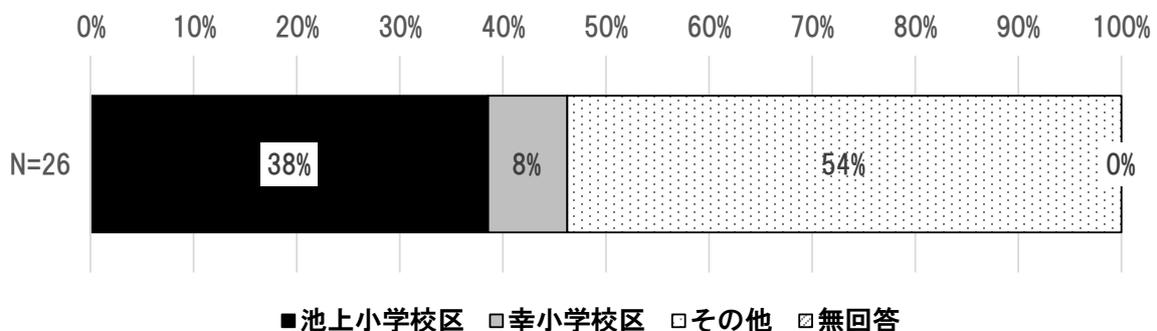
## ③ 10：00～13：00 の開催時間についてどう思われますか？



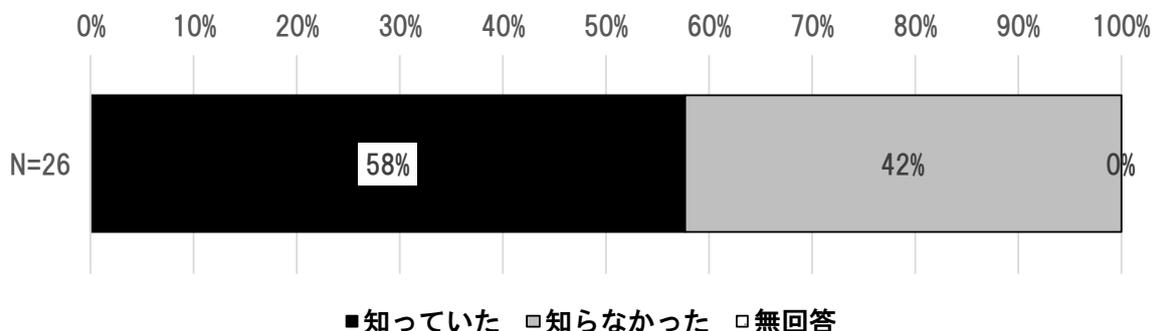
④次回も参加してみようと思いますか？



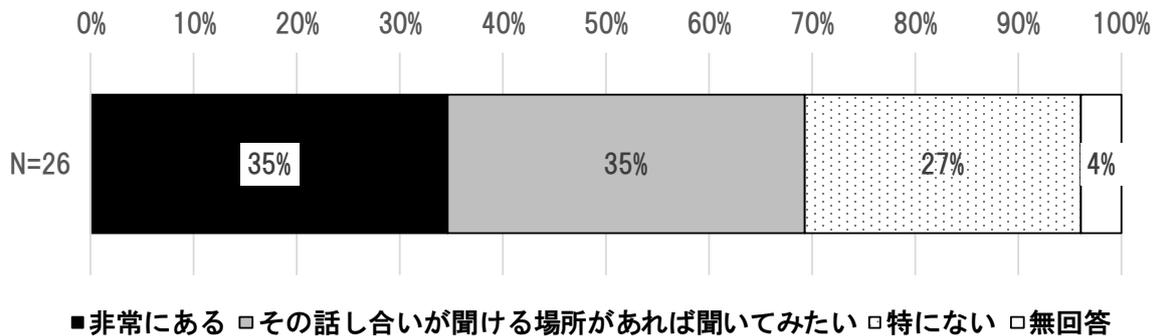
⑥お住まいの校区をお教え下さい。



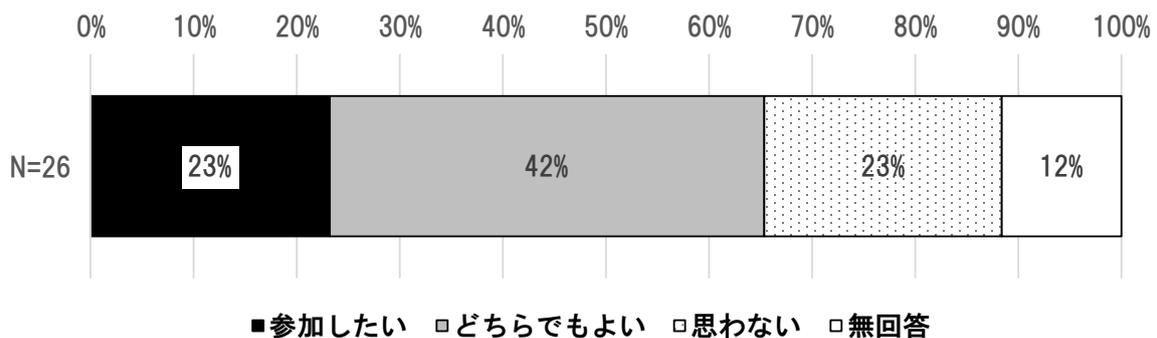
⑦富秋中学校区で現在、「富秋中学校区等まちづくり検討会議」が定期的に行われていることをご存知ですか？



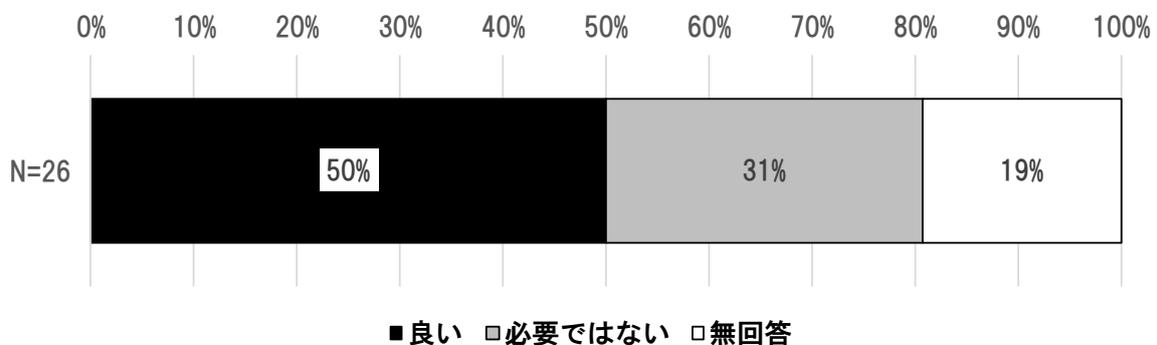
⑧ 富秋中学校区のこれから（小中一貫校検討や団地の建て替え検討等を含む街づくり）について興味・関心はありますか？



⑨ 次回このイベントをする際、運営側として一緒に準備していく会議や、当日のお手伝いに参加してみたいと思いますか？



⑩ 今後のイベントおよび、富秋中学校区等まちづくり検討会議の日程・内容等のご案内をさせていただいてもよろしいでしょうか。



⑤ イベントについて、こんな内容の催しがあればなど、その他ご要望をお聞かせください。

- ・ 月1くらいで、このような無料のイベントがあると親子で気軽に楽しめて助かる。
- ・ 季節が感じられるイベントがいいなと思います
- ・ 大人と子どもが一緒になって楽しめるイベント。(親)
- ・ もっと遊びたいです
- ・ 短編映画特集
- ・ 佐藤さんの絵本の読み聞かせ講座のお話はとても楽しくためになって、お話が聞けてよかったです。おにの頭にかぶるのも、アイデアがいっぱいで作るのも楽しかったです
- ・ 子供がメインになるから、駄菓子屋さんとか綿菓子作りがあれば喜ぶと思います。

## 収支について

- 収入 50,415 円 (寄付による)
- 支出 45,562 円 (物品・保険など)
- 収支計 + 4,853 円 ⇒**次回企画へ**



- ① どこにあるかが“わかりやすい”、誰もが“集まりやすい”場
- ② 地域住民と地域にやって来る人の誰もが“使いやすい”場
- ③ そこに行けば“交流でき”、様々な“サービスの利用”が叶う場
- ④ やる気のある人が、これまでの取組みを広げ、新たな活動を興せる“受け皿”となる場
- ⑤ 若者・子育て世帯などが“来たくなる”“住みたくなる”場

1/24 第6回検討会議での議論「このまちに必要な生活機能・サービス」の具体化（その①）

このまちに必要な生活機能

- ①居場所（いつでも、だれでも使える）…多目的スペースとパブリックスペース
- ②図書館、勉強しやすい場所（家ではリビングが勉強に最適）
- ③相談・サロン機能（解決できる、支えてくれる、やりがいがある）
- ④高齢者のための介護施設、医療施設など
- ⑤働く場 … 通勤距離を短く）
- ⑥日常購買、飲食など+駐車場
- ⑦観光資源
- ⑧子どもがボール遊びもできる公園

サービス・施設のつくり方

- ①コンパクトで多機能
- ②地域で運営
- ③みんなが自然に交流（心のバリアフリー、関わりやすい）
- ④人も物も持続可能 …継続できる仕組み
- ⑤安全に

9/27 住環境・コミュニティ部会⇒10/31 検討会議にて共有した、取り組みの方向性

※この資料は、これまでの議論と市の考え方をもとにした検討のための「たたき台」です。 18.09.27 住環境・コミュニティ部会 資料3

これまでのみなさんの意見にもとづいた、このまちの「大切な目線」

- ① できることから「段階的」に。
- ② 「地域住民」と「これから来る住民」のくらし第一。
- ③ 基本は「コミュニティ」。多様な人を受入れ・サポート。
- ④ 取組みは「地域（住民・団体）」「市」「民間事業者」等の「協働型」で。
- ⑤ 次世代の子ども・若者を地域一丸で呼び込み・育て・交流。

取り組みの方向性

	目の前のこと	中長期的なこと
高齢者等	○建替待ち団地、孤立・引きこもり高齢者への対応	○高齢者が安心して暮らせる住宅・施設
若者・子育て	○子ども・親の居場所づくり	○学校教育と連動した地域教育 ○民間住宅の誘導
市営住宅	○老朽化対応 ○若い世帯が入居できる住まい	○市営住宅・公共施設の再編、生活利便施設の導入
コミュニティ	○地域の取組み・活動の輪の拡大、ネットワーク化	○地域外や新住民との交流強化 ○次世代の人材育成

↓ 具体化するプロジェクトの一案

**取組案1 市営住宅の改修 + 若者・子育て世帯を呼び込み・サポート**

- \* 市営住宅の空き家改修(若者入居)
- \* 空きスペースの活用(居場所づくり)
- \* 地域活動(子育てサポート・多世代交流)

若者・子育て世帯を地域で受入・応援!

市(改修・ルール変更等) + 地域(利用・サポート活動) みんなで協力(成功体験を!)

①市営住宅空き家改修(若者入居)



例: 若者向けに改修した後の住宅

②空きスペース活用(居場所づくり)



例: 1階や敷地を活用した交流空間

③地域活動(子育てサポート・多世代交流)



例: 食事をテーマに地域活動

【役割分担のイメージ】

- 市: ①空き住戸の改修、ルール変更(①中堅層が入れる、②集会所利用)、③交流空間(デッキ・仮設施設等)※の整備による、みんなが立寄る空間の整備等 ※民間事業者等の活用も検討
- 地域: 地域で運営委員会をつくって、②交流空間の利用ルールづくり、③子どもや子育て世帯、福祉の相談の場、多世代交流事業・活動(子育てママの交流プログラム、食育活動、学習支援、遊び場づくり、朝市等のイベント、お店運営など)の展開等

**取組案2 多世代が住む・交流する拠点**

- \* 多世代住宅(市営 + 民間)
- \* 子育て・福祉・交流等の複合施設
- \* 公園・安全な歩行者空間

自然に集まる場をまちの中心に!

まとまった空間のある和泉第一が候補



公営住宅・民間住宅で多世代が住むまちのイメージ(他市事例)



例: 隣接する公園で自由に集う

<本日のテーマ>

・「多世代が住む・交流する拠点」となる「複合施設」をイメージし、そこはどんな空間、どんな機能か、どんなサービス・活動があるかを具体的に話し合っていきます。

<話し合う内容>

- ①この拠点となる複合施設に、どんなもの（機能・規模・空間）が入っていくか
- ②そこには、どんなサービス、どんな活動・取組みが行われているか

上記の話し合いをグループワークショップ形式で実施し、めざす方向性（共通するもの、違うもの）などを共有  
⇒まとめた結果は、「その③」へ & まちづくり構想の内容へ反映

12/6 福祉部会で出された、福祉に関するまち全体での課題への意見(主なもの)

- ・人材確保が課題。
- ・各活動が地区でバラバラ。
- ・各団体の人材のコラボや、各活動を横串に挿すことが必要。
- ・人材育成のための共同セミナーを実施しては。

池上・幸で人材育成・活動の交流・協力がかなうまちへ…



1班

<タイトル・テーマ>

「コンコンひろば」

コンコン：キツネの伝説＋ドアをノックする

ひろば：地域みんなで使える場

<場所のイメージ>

- ・地域住民・関係者みんなで使える場（住民中心の場）
- ・複合拠点の施設そのもの（福祉施設、カフェ等）が働く場に
- ・大人も子どもも地域みんなが知り合っている集まれる場
- ・住宅エリアに住む高齢者が、この場に来て自然と交流

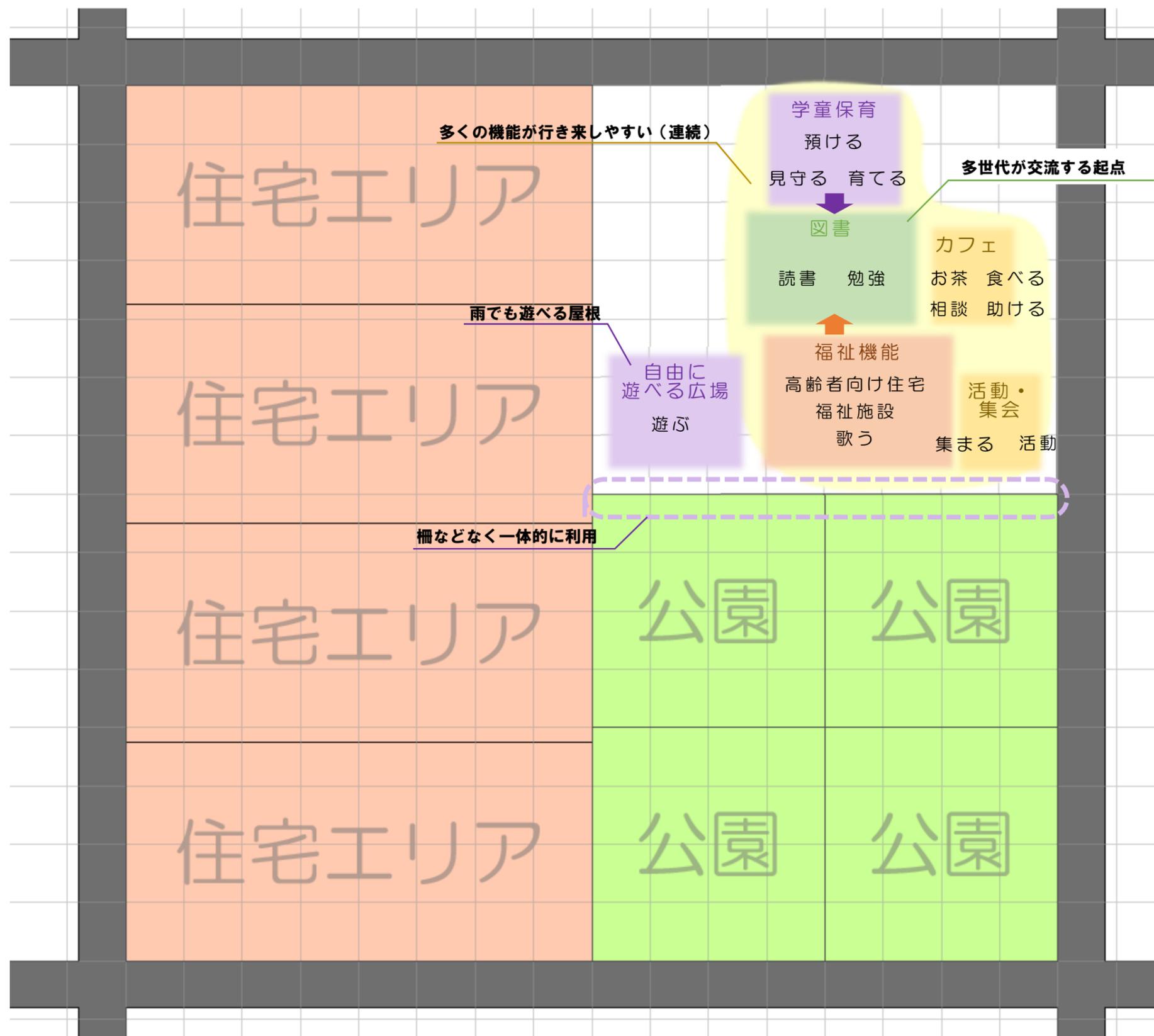
<生活機能・サービスのイメージ>

- \* 図書（読書/勉強）⇒「にじのとしょかん」より大きく
- \* 福祉機能（高齢者向け住宅/福祉施設/歌う）
- \* 学童保育（預ける/見守る/育てる）
- \* コミュニティカフェ（相談/助ける/お茶する/食べる）  
⇒隣保館的な場、自然に集まれる場
- \* 自由に遊べる広場（遊ぶ）⇒公園以外に穴掘りなどできる
- \* 活動・集会機能（集まる/活動）⇒すこやかリビングのような場

×普通の購買施設・飲食（コンビニ・居酒屋）、会社や工場、観光施設は不要。

<つくりかたのイメージ>

- ・福祉機能（高齢者）と学童保育（子ども）の間に、図書・カフェ。この場が多世代の交流の起点。
- ・活動・集会機能も拠点から独立せず行き来しやすい（連続）
- ・公園と複合拠点は柵などなく一体的に利用
- ・子どもの声かしても住宅に響きすぎないように拠点空間を住宅で挟まない（“抜け”をつくる）
- ・雨でも屋外で遊べる屋根付きの広場





2班

<タイトル・テーマ>

「高齢者と若者の交流」  
「皆の意見を聞いて地域で運営」

<場所のイメージ>

- ・医療施設があれば安心
- ・子どもが遊んでいる間、お母さんが休める・相談できる場所
- ・子どもだけでなく、大人もワクワクできる場所
- ・学生が読書や勉強する傍らで高齢者が将棋を打つなど多世代で使える空間に

<生活機能・サービスのイメージ>

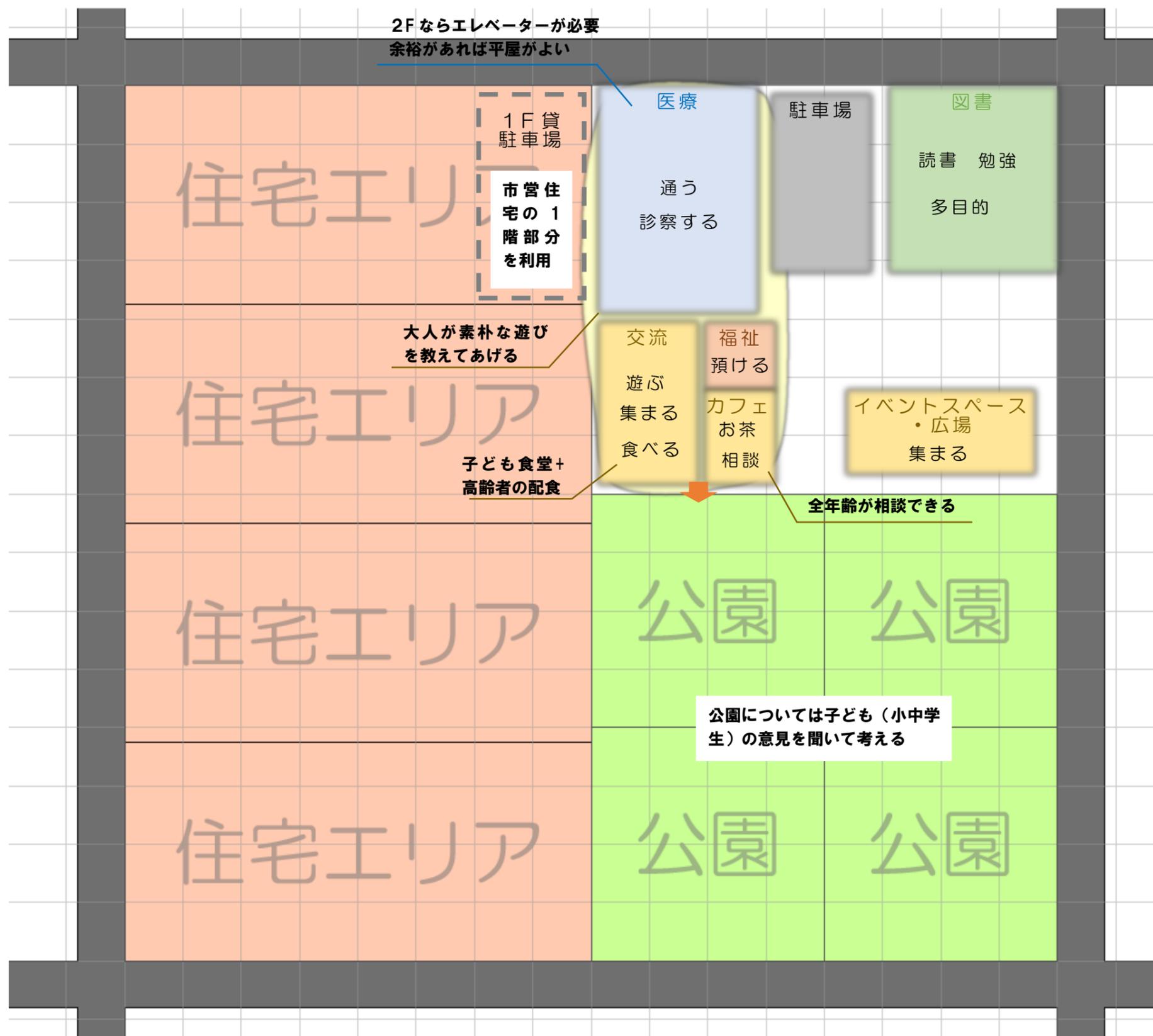
- \*医療機能（通う/診察する）
- \*交流機能（遊ぶ/集まる）⇒全年齢楽しめる
- \*図書（読書/勉強/多目的）⇒映画や将棋などもできる
- \*イベントスペース・広場（集まる）⇒コンサートなど実施
- \*食堂（食べる）
- \*駐車場⇒診療所のために必要

×使い方が限られるもの、現地域の中で稼働率の低い調理室などは不要。

⇒○子ども食堂＋高齢者の配食など使い分けの工夫が出来る

<つくりかたのイメージ>

- ・医療機能は、緊急時すぐに駆け付けられるように、市営住宅の近くに配置。
- ・交流機能は公園の前、かつ医療機能など高齢者のいる空間と近づけて交流しやすいように
- ・公園は当事者である今の子ども達がどのような使い方をしたか意見を聞いた上で考える
- ・他地域の成功事例を参考にしながら、地域が中心に運営し、周りの様々な意見を反映させてつくっていく





3班

<タイトル・テーマ>

「一つの場所でいろいろな使い方ができる」「誰もが自然に立ち寄れる」「地域の力で運営する」

<場所のイメージ>

- ・地域の誰もが立ち寄りやすい場、立ち寄る理由（行ったらええことある）がある場所
- ・いろいろな機能が複合し、ここに来れば、なんでもできる
- ・基本的に地域や住宅に住む人が“自助”で運営
- ・場合によっては有償ボランティアや地域内通貨を導入し、常駐管理者を置く（地域のコミュニケーションがよくなれば、手を挙げる人はでてくる）

<生活機能・サービスのイメージ>

- \***交流機能（物販/お茶・お話スペース）**⇒飲み物・軽食、野菜、古着、手作りの品を販売（隣接するお茶スペースで食べられる）
- \***集会機能（会議/集まり/相談）**
- \***福祉＋交流機能（医療/健康づくり活動スペース）**⇒医療機能に隣接し体操・歌などの健康づくり活動を行ない、一体的に利用できる
- \***子どもたちが集まる場（預ける/勉強する/教える/読書する）**

<つくりかたのイメージ>

- ・いろいろな使い方ができるスペースを作り、使い方が似たスペースは兼用とし、**みんなが使える場**とする
- ・中の様子が見えやすい**人通りが多い道に面して、立ち寄りやすい機能（販売所・交流スペース、医療）を配置する**
- ・医療と福祉、学習と子育てなど**似た機能を近くに配置し、一連の流れで使えるようにする**
- ・高齢者と子どもなど、**見守りの関係をイメージして機能を配置する**
- ・公園は2つに分け、1つは簡単なボール遊びができる公園とし**使い分けする**
- ・危なくないように**見守られながら遊べる環境をつくる**
- ・外周にお散歩みちをつくり、みち沿いに、ベンチやお茶が楽しめるようなスペースを配置し休憩できるようにする、**顔の見える環境をつくる**

